

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり39.11人の報告があり、警報レベル(定点当たり30.0人)を上回りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は49件の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第51週 A型:304人、B型:0人

2 感染性胃腸炎

定点当たり5.57人の報告があり、増加傾向です。手洗いの徹底、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策に努めましょう。

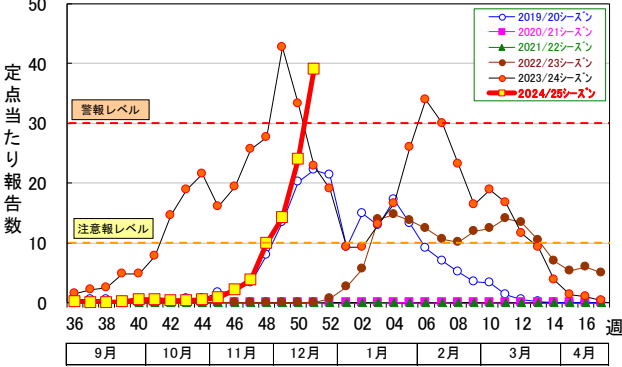
3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.83人の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策に取り組みましょう。

4 水痘

定点当たり0.91人の報告があり、前週と比べて増加しました。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

インフルエンザの流行状況(広島市)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい	前週と比較しておおむね
インフル	インフルエンザ	1408	39.11	9.04	↑	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.23		↑	↓			前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	新型コロナ(COVID-19)	66	1.83		→		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.06		↗	↘			前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	RSウイルス感染症	5	0.22	0.12		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		↗	↘			前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	11	0.48	1.43			流行性角結膜炎	9	1.13	0.68						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.91	1.67	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03						ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	128	5.57	6.84	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-						
	水痘	21	0.91	0.17	↑		マイコプラズマ肺炎	31	5.17	0.06	→					
	手足口病	2	0.09	0.96			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						
	伝染性紅斑	2	0.09	0.17			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-						
	突発性発しん	4	0.17	0.19												
												報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。				
												インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)				36
												小児科定点数				23
												眼科定点数				8
												基幹定点数				6
												(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)				

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	102	70歳代、80歳代
5	急性脳炎	3	11	10歳未満・3人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	14	80歳代
5	梅毒	2	160	30歳代、50歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	8	80歳代
5	百日咳	4	42	10歳未満・2人、40歳代・1人、50歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	(C O V I D - 1 9) 新型コロナウイルス感染症	R S ウイルス	咽頭結膜熱	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第47週	138	21	3	9	42	78	11	23	1	2	4	1	-	7	-	1	47	-	-	-
		第48週	356	47	9	6	41	102	5	10	2	5	4	-	-	7	-	-	29	-	-	-
		第49週	515	61	5	7	42	95	8	14	1	4	-	1	1	8	-	-	36	-	-	-
		第50週	864	61	11	6	42	111	3	8	2	7	2	1	1	5	-	-	31	-	-	-
		第51週	1,408	66	5	11	44	128	21	2	2	4	-	1	-	9	-	-	31	-	-	-
定点当たり	広島市	第47週	3.83	0.58	0.13	0.39	1.83	3.39	0.48	1.00	0.04	0.09	0.17	0.04	-	0.88	-	0.17	7.83	-	-	-
		第48週	9.89	1.31	0.39	0.26	1.78	4.43	0.22	0.43	0.09	0.22	0.17	-	-	0.88	-	-	4.83	-	-	-
		第49週	14.31	1.69	0.22	0.30	1.83	4.13	0.35	0.61	0.04	0.17	-	0.04	0.13	1.00	-	-	6.00	-	-	-
		第50週	24.00	1.69	0.48	0.26	1.83	4.83	0.13	0.35	0.09	0.30	0.09	0.04	0.13	0.63	-	-	5.17	-	-	-
		第51週	39.11	1.83	0.22	0.48	1.91	5.57	0.91	0.09	0.09	0.17	-	0.04	-	1.13	-	-	5.17	-	-	-
	全国	第49週	9.05	3.06	0.31	0.40	2.61	4.35	0.31	1.95	0.92	0.26	0.05	0.04	0.02	0.71	0.02	0.04	2.29	-	0.01	-
		第50週	19.06	3.89	0.33	0.40	2.61	4.89	0.31	1.32	0.94	0.24	0.03	0.04	0.05	0.81	0.03	0.03	1.81	-	0.02	-

★麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起

京都市保健所管内において「麻しん」の感染が確認された患者が、感染可能期間に本市内の施設を利用していたことが判明しました。麻しんは、非常に感染力が強く、空気感染・飛沫感染・接触感染によって感染します。

下記ホームページ記載の日時に施設を利用された方は、麻しんに感染している可能性があるので注意が必要です。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/houdou/houdou/411615.html>



【参考】令和6年度 年末年始の医療機関

年末年始(12月28日～1月5日)は開いている医療機関が少ないため、例年医療機関が混雑します。年末年始に向けて、今のうちからできる準備をしましょう。

◆ 年末年始を安心して過ごすために

- ・「かかりつけ医」の診療日を確認しておきましょう。
- ・体調が優れない時は、休診となる前に受診をしましょう。
- ・急な体調不良に備え、解熱鎮痛薬などを準備しておきましょう。
- ・体調を管理し、健康に過ごしましょう。

◆ 年末年始に医療機関を受診するときは

年末年始は、大変混み合い、待ち時間が長くなることがあります。受診を迷ったら、まずは電話相談をご利用ください。

☎ 救急相談センター広島広域都市圏・備後圏域

看護師の資格を持った相談員がお話を伺い、病気やケガの症状を把握して、急いで病院を受診した方がいいか、様子を見てもよいかなどアドバイスします。

電話番号: 局番なしの #7119 または 082-246-2000 (受付時間: 毎日24時間)

☎ こどもの救急電話相談

夜間のお子さんの急病に対して、すぐに受診させたほうがいいのか、翌朝まで待ってもいいのか判断に迷ったときに、相談員(看護師)が、受診の必要性やご家庭でできる応急処置などを電話でアドバイスします。

電話番号: 局番なしの #8000 または 082-555-8870

(受付時間: 平日19時～翌朝8時、土日祝・12月29日～1月3日 17時～翌朝8時)

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

令和6年度 年末年始の医療機関(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/holidaymedicalcare/195631.html>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp